

むつ市大安寺のスギの保護・保全事業実施報告書です。

| | |
|-------------------|--|
| 名木の所在地 | 青森県むつ市大畑町本町80（大安寺境内） |
| 名木の名称 | 大安寺の大スギ 推定樹齢 350年 |
| 名木の所有者 | 大安寺 |
| 治療年月日 | 平成22年10月13日（水） |
| 樹木医による 名木の診断内容 | 下北地区を代表するスギの巨木である。 外視からは、辺材腐朽及び心材腐朽どちらも確認できないが心材腐朽が進んでいるのではない。 打診音がいささか鈍い音響音となっている。 梢及び樹冠上部の枯枝が激しく、中間部土壌の有効土層が薄く樹木全体が衰弱し、太枝にはキノコ（チョウクダケ?）が寄生し樹木全体の生長が抑制されている。 根元周辺は固結し、根系活動の障害となっている。また、土壌の有効土層は薄く、根元周辺は踏圧されて固結し根系の伸長に障害となっているので土壌改良する必要がある。 |
| 実施した治療内容 | 高度な有機質を含む改良材と、土壌の有機質分解を促す微生物増殖環境とするため空隙率の高い活性炭により、土壌改良工を図る必要がある。 また、土壌改良したあとに細根の発生を多くするために、発根剤の散布と新根の健全性を促進するため養生剤の散布が必要である。 |
| 今後の名木に対する留意事項 | 内部の腐朽について注意する必要があるので、定期的に打診音などの調査を行うべきである。 踏圧について今後の状況を見ながら、防護策設置等の検討が必要である。 |



むつ市大畑町本町

大安寺の大スギの木です。

一番大きなスギが大スギです。



階段のすぐ脇なので、土壌は踏圧されて

固結し、根茎の伸長に障害となっている。



空隙率の高い活性炭により土壌改良工を
図る。